



羽村市立栄小学校 学校だよりNO. 9 令和7年11月28日



音楽会

音楽会委員長 関谷 智香子

11月21日(金)22日(土)栄小学校「音楽会」を開催しました。運動会に引き続き、保護者の皆様、地域の皆様、ご来賓にご参観いただきありがとうございました。PTA本部役員をはじめ、ボランティアのご協力をいただき無事に終えることができ心より感謝申し上げます。

各学年の発表は、いかがでしたでしょうか。歌も合奏も、各学年の子供たちのイメージに合った楽曲にしようと音楽専科を中心に選曲しました。子供たちは、夏休み前に楽譜を受け取り、2学期早々に楽器決めをしたり個人練習に取り組んだりしてきました。どの学年の子供たちも始めは、難しそうだなど感じていたようですが、音やリズムに自分の思いを表そうと練習を重ねました。運動会が終わる頃になると、どの教室からもリコーダーや鍵盤ハーモニカの音が聞こえてくるようになり、校舎の中では、歌声や楽器の音が響き渡るようになってきました。打楽器を担当した子供たちは、休み時間も各学年が交代しながら練習をし、上の学年の友達が演奏している様子を見て「かっこいいなあ。」と思う場面もあったようです。音を合わせるとか声を合わせるということは、一人一人がまずしっかりと演奏できなくてはいけません。そのためにも、自分からすんで取り組むことが大切でした。お互いに声をかけ合ったり教え合ったりしながら、音を合わせ、息を合わせ、心を合わせて一つの音楽が完成したこと、自分たちだけの音楽を創り出せたことに喜びを感じている姿は、素敵でした。また、大勢の人の前に立つこと、オーディションやミニテストを受けて自分の力に挑戦することは、貴重な経験になり大きな成長につながったと思います。6年生の終わりの言葉に『学んだことの一つに「練習や準備の楽しさ」ということがあります。オーディションに落ちてしまった人もいるけれどがんばって練習をしたことに変わりはありません。』という話がありました。うまくできなくて悔しい思いをしたこともあるでしょうが、練習を重ね自信ができたからこそ言える言葉、努力することで満足感や充実感を感じたからこそ言える言葉だと思います。そしてその積み重ねを「楽しい」と言える子供たちを私たち教職員はとても誇らしく思います。これからも様々な音楽に触れ、音色やハーモニーを味わい音楽を楽しみ音楽に癒され豊かな心を耕してほしいと願っています。

多くの方の盛大な温かい拍手が子供たちの自信につながった音楽会になったと思います。ありがとうございました。